

ふれあい北守谷

明るい街、楽しい街、助け合える街に！

第12号 平成30年3月10日



まちづくり協議会設立検討委員会発足 住民の皆さんに求められるもの

「まちづくり協議会」について、昨年11月～今年2月にかけて、市長の公約である「まちづくり協議会」の説明が市民協働推進課により北守谷地区地域福祉活動計画実行委員会や北守谷地区連絡協議会、自治会長、民生委員など各団体に対し行われました。今年1月14日には「まちづくり協議会」シンポジウムも開催されました。

2000年に地方分権一括法が制定され、今までの中央省庁主導の縦割り画一的行政システムから県、市町村の住民主導の個性的で総合的な行政システムに転換されてきています。

守谷市でもこれまでの様な画一的な行政サービスでは限界があり、多様化する市民の満足度を満たすことが出来なくなってきています。

地域により、高齢者の多い地域や比較的若い世代の多い地域では住民のニーズが違いますので地域に合った細かい施策が必要となります。

市は「まちづくり協議会」に財政支援の他、人的支援、活動拠点の支援も行います。これに基づき、現在「まちづくり協議会」設立推進のためモデル地域を募集しています。

この政策は地域で身近な課題をまとめ、行政に提案することで住民ニーズにあった行政サービスを行うもので、今後市内6つの地区でそれぞれ「まちづくり協議会」を立ち上げる事になります。

北守谷地区では「まちづくり協議会」設立にむけて「まちづくり協議会設立検討委員会」が2月初めに発足致しました。北守谷地域でどの様な「テーマ・組織・進め方」が最適か積極的且つ建設的な議論を進めています。

メンバーは主に北守谷地区福祉計画実行委員会、北守谷地区連絡協議会、民生委員、市議会議員の16名で構成されています。

2月27日には協働の街づくりの先進地である鶴ヶ島市を視察、毎月1回の会議を行い協議会設立に向けて進めてゆく予定です。

2月9日行われた議会出前懇談会の中でも、多くの方から地域のニーズにあった仕組み作りが急務との意見がでました。



- ① 2月初めの大雪で高齢化地域の除雪作業など行政に頼んでも間に合わない。地域で助け合いながら除雪するしかありません。
- ② 今後、特別養護老人施設では基本的に要介護3以下の人は入居出来ない為、自宅ケアという事になります。従って、元気な人がお互い支え合う仕組み作りが必要です。
- ③ 行政サービスでは「市がやる事」と「地域が出来る事」を区分けして、身近なものは住民の提案でスピードをもって進める事が重要です。このような地域の課題は沢山あります。
- ④ 交通防災課から大災害時は自助・共助でお願いしますとハッキリ言われたことで、住民のやるべき事が明確になり、防災訓練など活発になってきました。行政は出来る事とできない事をハッキリさせるべきです。

北守谷地区議会出前懇談会で活発な意見交換！

昨年に続き2回目の守谷市議会出前懇談会が去2月9日(金)に「北守谷地区の活性化を考える有志の会」主催で開催されました。

「まちづくり協議会」については、まだ自治会等で意見が集約されておりませんが、この様な懇談会を通して意見を出し合うのが協働の街づくりのスタートとなります。

市議会議員は梅木議長はじめ10名が出席、有志の会からも24名が参加し活発な意見交換をしました。



「まちづくり協議会」についての意見

御所ヶ丘5丁目では「助け愛の会」を5年前から進めています。行政が出来ない事を住民でやっています。しかし北守谷地区 26 自治会で同じことができるか、難しい所だし、それを纏めるのは大変です。しかし、課題が沢山あることは事実ですので、この機会に時間をかけずに進めて行くのがベストであろうと思います。

自分たちの事は自分たちで決める意識が必ずしもない。今までは行政にお願いすればどうにかなっていました。またやらない場合は行政の問題だという事にしていました。地域においてもリーダーシップをもった人に頼っていたところが多いと思います。しかしリーダーは疲れてどこかで投げ出さざるを得なくなります。自治会も同様で現在は毎年自治会長が交代しています。地域で支え合う事をやっている例もありますが、何をやっているのではなく、如何に維持できる仕組みを作るかが大事です。



鶴ヶ島市第二小学校区、岐阜県関市、高山市、阿見町の笠見地区等では既にこの支え合いシステムが稼働しており、協働のまちづくりの先進地域です。それらの運営マニュアルは大変しっかりしているので、参考にすれば早く進める事が出来ると思います。

「世代循環型のまちづくり」を提案したらどうでしょうか。例えば新守谷駅前に高層マンションを建て、マンション住まいを望む若い人や高齢者が入り、戸建てには子育て世代が入るなどです。

大きい事は行政に任せて、ともかく身近な助け合い、防災・防犯、青少年の育成など地域でやった方が良くと思います。余り難しく考えず、出来る事から早くやってゆくのがいいと思います。



行政サービスがこれから変わる事を市民は理解する必要があります。

北守谷地区の交通網についての意見

ゾーン30について（生活道路の最高時速30kmの規制）

Q: 松前台2丁目内で保育園、保育所、学童保育が集中している箇所は通行車両が多く、特に子供の送迎時はスピードを出す車が多く事故発生確率が高く、危険な状況です。ゾーン30の規制で人身事故が23%も減少した報告もあり、スピード制限、停止線の表示など対策を考えて頂きたいです。

Q: 松前台2丁目の自治会長が市の交通防災課や取手警察久保ヶ丘交番に相談しましたが解決策、手続き等の明確な指導がなされませんでした。

Q: 松前台3丁目の自治会長が昨年5月に「ゾーン30」の要望書を市に提出しましたが未だ連絡がない状態です。



Q: 御所ヶ丘3丁目も294号線に抜ける道があり、大型トラックが頻繁に通行するようになったので自治会総会で「ゾーン30」の要望書を提案する予定です。

A: 「ゾーン30」について、現申請書の進捗状況と申請手続きの確認をします。

北守谷地区内の公共交通システムについて

Q: 松前台7丁目に住んでいますが、高齢化が進み運転免許証返納した場合、現在の様に北守谷公民館行のバスが1本/時間の運行では生活できません。私は一旦車を止めて、バス定期4800円を頂いたが、生活出来なかった為定期を返納しました。駅やスーパーの買い物など、せめて2本/時間まで増便して頂きたいです。

Q: モコバスで板戸井から守高までのバスを少し延長して、現在バス停の無い薬師台7丁目まで延ばすとか、地域の声を取り上げて改善して欲しいです。

Q: モコバスに代わる交通システムとして、阿見町の笠見地区などで実施している「ワンボックスカー」による住民の運転での「支え合いバス」の導入をしたらどうでしょうか。

Q: 買い物難民対策の為に「500円」の乗り合いタクシーのシステムを導入したらどうですか。つくばみらい市では実施しています。

A: 行政では現在「交通活性化協議会」で新しい交通システムを検討しています。現在のモコバスだけではなく、モコバスルートは縮小、小さなデマンド系の交通手段を検討していて全ての意見を吸い上げて平成31年度から実施する予定です。

高齢化に伴う諸問題、教育、子ども会についての意見

Q: 高齢者対策、福祉対策でポイント制の導入について高齢化が進み民生員の役割や負担が増えています。地域の皆さんで支える工夫として福祉ポイント制度を考えてはどうですか。例えば一時間家事手伝いをした方に200ポイントを付与し、やがては福祉支援の権利や生活用品の購入権を受けるとか等、インセンティブを考えてはどうですか。

A: 福祉ポイント制度については現在守谷市で検討しています。

Q: 学校給食の食品ロスについてはどのような対応をしていますか。

A: 以前から堆肥化をしています。



次ページに続く

Q: 今回 PTA 役員や子ども会役員の方に参加して意見を頂く予定でしたが、平日で仕事があり参加できませんでした。子ども会への補助金、助成金制度の実施状況はどうなっていますか。

A: 子ども会連合(守子連)に出しています。廃品回収で 10 円/kgの助成金を出しています。

Q: 高齢者の要望の一つにゴミの分別が細かすぎるので改善方法がないですか。ゴミ分別で燃えるゴミと燃えないゴミを一緒に出来ないか、自分でも迷う事が多いし、高齢者になると益々大変です。ゴミ処理場の熱処理能力アップにより分別方法の改善が出来ませんか。

A:ゴミ回収事業は常総広域の4市で議会を設けて進めています。本件の提案について議会で改めて提案します。生ごみの回収事業については年1億円かけて行っています。

その他の意見

松前台1丁目はアパート、マンションが多く、自治会加入率が50%以下です。防災上問題で防災協力会に入る様依頼していますが、市長から「自治会加入のメッセージ」を文書にして頂きたいです。

昨年も質問されましたが、魔の県道とされる県道58号線、(守高から吉春にぬける箇所)の歩道工事の件で平成30年度に「学びの里」付近の歩道拡張工事が始まることが決まりました。

この他、防災情報伝達システム、市の防災対策の長期計画、子どもの遊び場、空き家対策、個人情報取り扱いの件は議論出来ませんでした。引き続き議題にしてゆく予定です。



Q: 松前台 3 丁目のやまばと公園の西側の窪地 (以前は水田) にサッカーグラウンドの予定地だったものが、2 か月前からこの空き地にソーラーパネルを設置する申請がされ、盛り土を埋め立て直す工事を開始されようとしています。盛り土には産廃が入っており違法であることが判明しました。この土地の所有者(株ノグチ)は昨年 4 月から守谷市の都市計画課との間でソーラーパネル設置が了承されているのではないかと不信感が住民の間で広がっています。

住民の立場で考えると、サッカーグラウンドから大規模ソーラー発電所に変更する事は景観が著しく悪化すること、もともと沼地で軟弱な土地に設置された場合は、台風などの風水害が発生する危険性があり、守谷市に対して、

「ソーラーパネル発電所の設置の取り消し」

「守谷市がこの場所を買い取り、新たな施設の検討」

等をお願いします。

A: 本件については実態調査をして別途回答することになり、3月の議会で一般質問の予定です

どこでも茶屋「くわがた亭」 春シリーズスタート！！

いよいよ、薬師台2丁目「くわがた公園」において、どこでも茶屋「くわがた亭」が開催されます(@_@)！！

地域の皆さんの“ふれあい・語らい・憩い・やすらぎ”の場としてご利用願います。

どこでも茶屋「ぶらぶら亭」と同様、オープンカフェスタイルで、珈琲(薬師台7丁目「アトリエ夢珈琲」の豆使用)、各種ジュースを提供しております。

開催日 : 3月24日、4月28日、
5月26日、6月23日
毎月第4土曜日のみ(悪天候の場合は中止)
開店時間: 午前10時から午後4時まで



どこでも茶屋「ぶらぶら亭」春シリーズ！！

どこでも茶屋「ぶらぶら亭」は、福祉活動の一環として地域の皆様が気軽に集まってご友人たちとのおしゃべりを楽しんだり、新しいお仲間と出会える交流の場として開店しました。

いれたての香り高いコーヒーのほかジュース類、麦茶とお菓子を用意しております。

大山公園の緑に囲まれた一角に設けられた野外カフェですから自然も満喫してください。

ベーゴマやけん玉、お手玉、輪投げなどの遊び道具も揃えてありますので、ご年配の方から小さなお子さままで楽しんでいただけます。

その他、催し物として皆さんと一緒に唄う野外コーラスや地元の有機農園野菜クラブの朝採り野菜の販売なども行っていますので、是非お気軽にお立ち寄り下さい。

春シリーズの開催日程

開催日 3月18日(日) ~ 6月17日(日)
毎週日曜日(悪天候の場合は中止)
開店時間 午前10時から午後4時まで
場所 大山公園(松前台小学校裏)
ただし、4月1日と8日は桜がきれいな立沢公園で開催します



第17回 北守谷公民館地域ふれあいまつり



第17回「北守谷公民館地域ふれあいまつり」が2/19～25まで7日間開催、66団体の皆さんが参加されました。

初日の開会式は、来賓の守谷市教育委員会教育長はじめ北守谷地区保幼小中高各園長校長先生方他をお迎えし、大井沢小4年選抜児童、口琴クラブのコラボでの発表があり、盛大に行われました。

20日には渡部喜代六氏の講演会「マラソンと感動」、21日には伊奈特キャラバン隊代表関山幸子氏の講演会「知的、発達障害のある子ってどんな気持ち？」があり、守谷幼保園、二三ヶ丘幼稚園、御所ヶ丘小3年、松前台小5年の各発表もありました。展示会は絵画、写真、書道、短歌、俳句など素晴らしい作品が揃い好評でした。

24、25日の催し物発表や模擬店は例年通りの大変な賑わいで、各世代の人達が交流できる楽しいまつりとなりました。

ふれあい北守谷の行事、活動予定 平成30年3月～平成30年6月	
ぶらぶら亭	●3月18日～6月17日 毎週日曜日、10時～16時、 大山公園（4/1、8は立沢公園）
くわがた亭	●3月24日（土）より6月23日 毎月1回、第4土曜日 くわがた公園 10時～16時
グラウンドゴルフ	●大山公園：第1、3水曜日 ●薬師台緑地公園：毎週金曜日 第2、4水曜日 時間：9時30分～12時
異世代交流事業 守谷おもちゃ病院	毎月第3水曜日 ●4月18日（水）10時～12時 ●5月16日（水）10時～12時 ●6月8日（水）10時～12時 （キターレ児童センター）
キターレ 児童センター	●5月3日（木）キターレ春祭り 10時～15時 ●6月9日（土）デイキャンプ 千葉県立手賀沼の丘、少年自然の家

編集後記：◆今回のメインテーマは「まちづくり協議会」、今回の議会出前懇談会においても色んな賛否両論の議論がされていますが、地域のニーズを行政に反映させるいいチャンスだと思います。◆平昌冬季五輪、選手のスポーツマンシップに感動。負けたと思った女子カーリングの初銅メダル、小平選手と李相花選手、一緒にウイニングランは涙でした。◆雛祭りメール画面はさくら色（増）